10分で IR を語ろう！

大学評価担当者集会2013/8/22

本田 寛輔　メイン州立大学アーガスタ校
Research Analyst

言葉と想いが先行してる？（幻想を含む）

略称	誤解	想い	実践例	実践年数
FD	Floppy Disc	教授、教育をしっかりしてください！	授業評価、教授法改善、カリキュラム開発、GPA	20年
IR	Investor Relations	執行部と教授会、データを見てしっかり管理運営してください！	学生調査、データベース、ベンチマーク、認証評価	数年

IRって、何ですか？

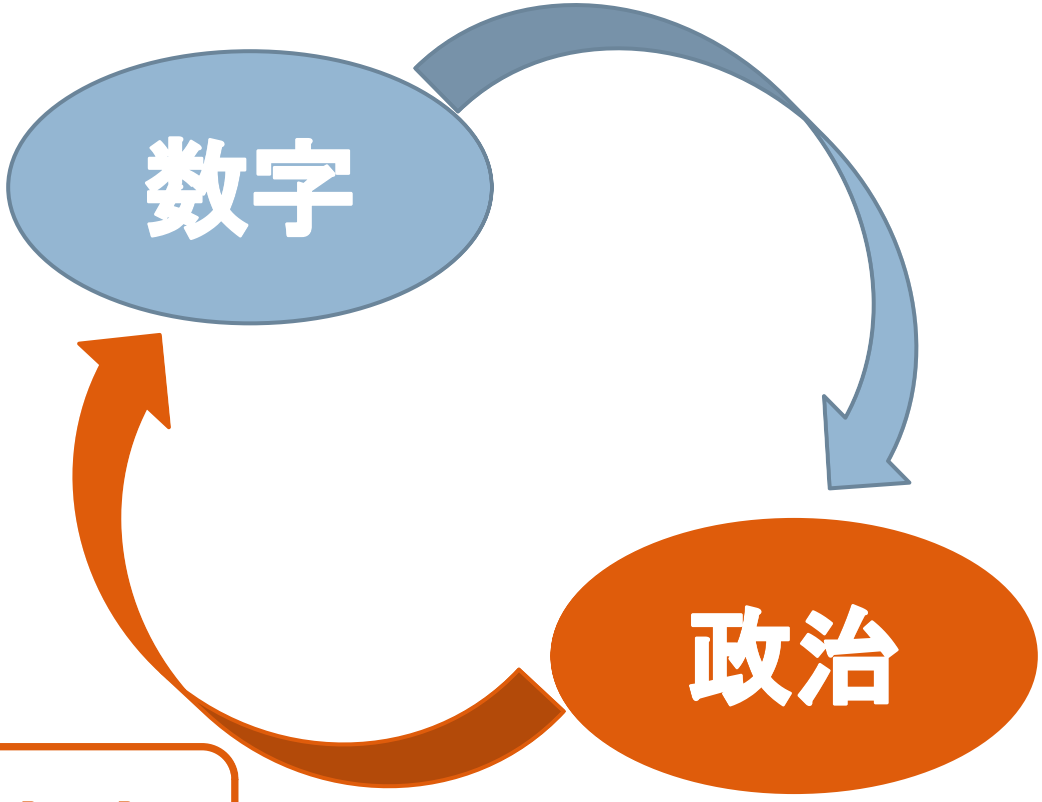
- 一般論的な定義
  - 「IRとは高等教育機関の内部で実施される調査で、組織の計画立案、政策形成、意思決定を支援する情報を提供する」（Saupe 1999）
- 皆さんの興味
  - 「米国ではどれだけやれているの？」
- 私なりの回答
  - 大学の類型、部署の位置づけ、人材、案件の内容、執行部の姿勢、学内政治などによって変わります（詳しくは本田IDE論考を参照）

データの活用って、具体的に？

- データの
  - 収集
  - 分析
  - 共有
  - 活用

状況把握

判断材料



米国、90年代の転換期

改 善

対外的

対内的

連邦政府教育機関情報(IPEDS)

学習成果の診断(Assessment)

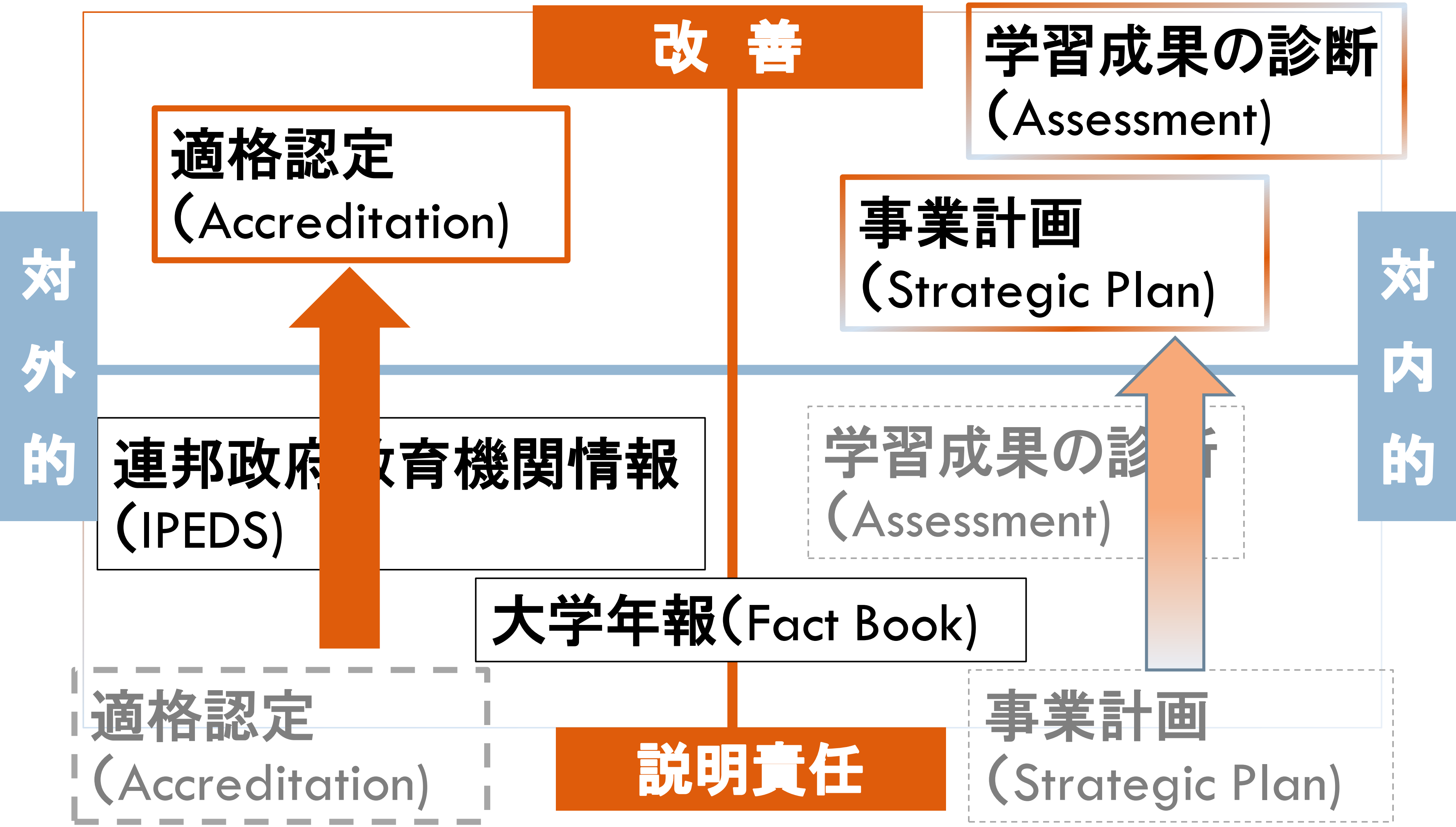
大学年報(Fact Book)

適格認定(Accreditation)

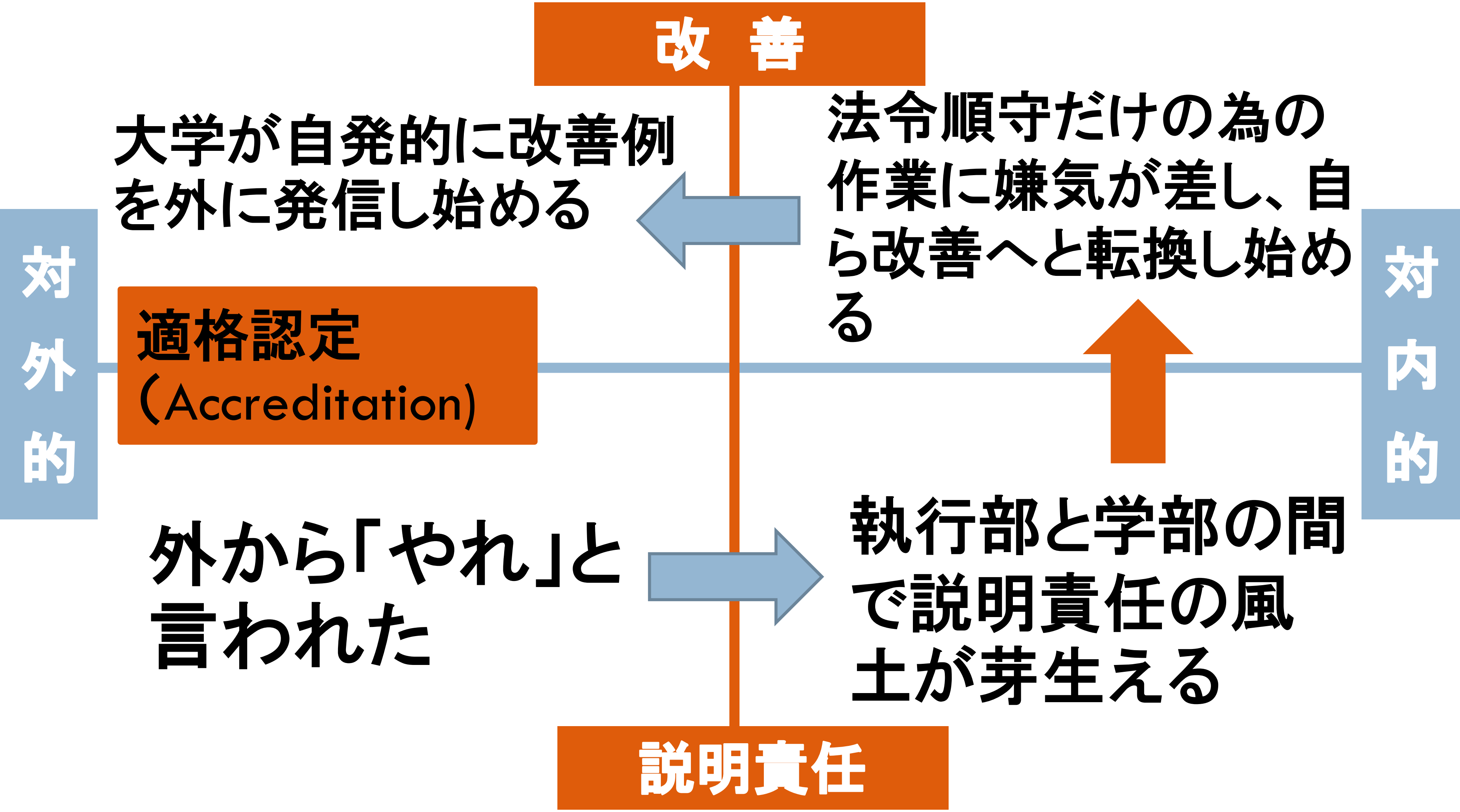
説明責任

事業計画(Strategic Plan)

米国、最近の動向


改 善
学習成果の診断
(Assessment)
適格認定
(Accreditation)
事業計画
(Strategic Plan)
対外的
対内的
連邦政府教育機関情報
(IPEDS)
学習成果の診断
(Assessment)
大学年報(Fact Book)
適格認定
(Accreditation)
説明責任
事業計画
(Strategic Plan)

説明責任から改善への発展経路



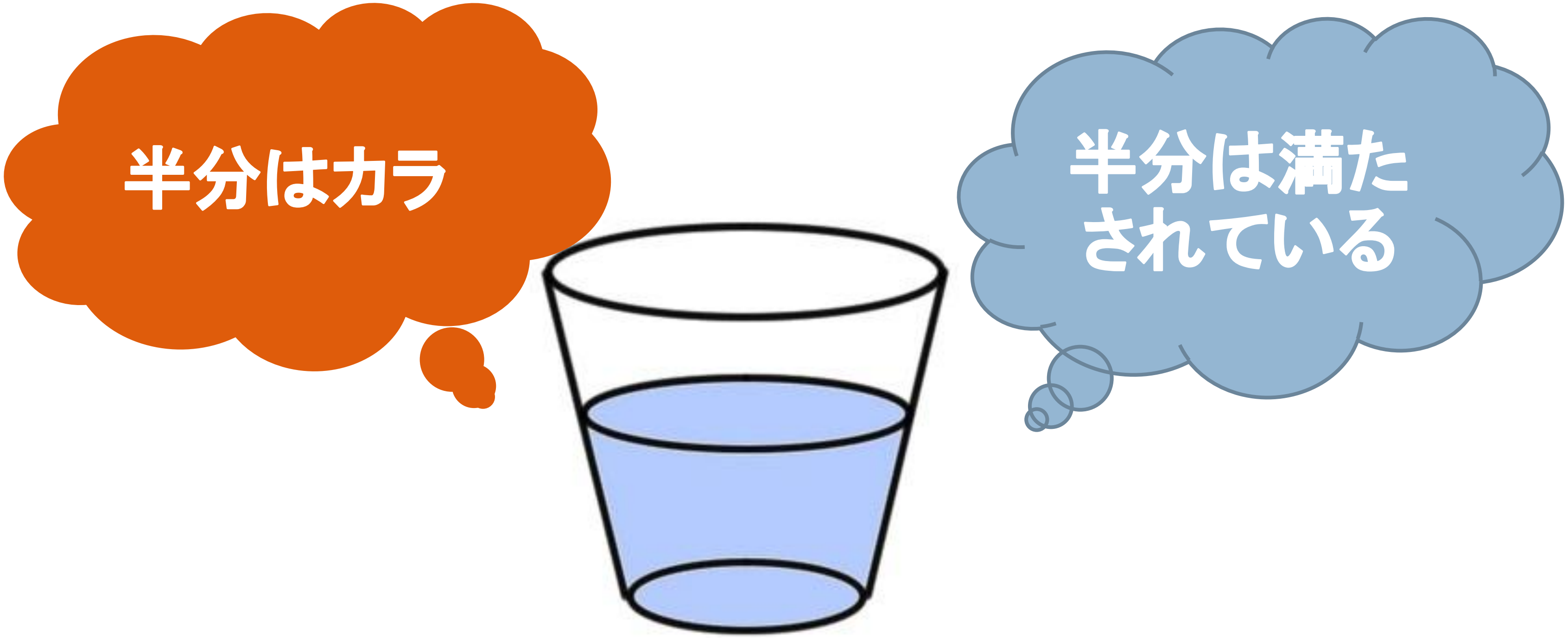
私の実践（あなたにもできる！）

- 学内の管理職、教員、職員から、それぞれの個人的な認識を聞き出す。
- 様々な課題の中で、重要度が高く、意見が拡散している問題を選び出す。
- IR部署内にどのような関連データがあるかを探してみる。
- 案件に関与する学内の重要人物を割り出す。
- 個別に情報提供の打ち合わせをし、相手の感触をつかむ。その中で、データ分析と提供の仕方について助言をもらう。
- そのうちに、誰かが学内の正式な意思決定の遡上にあげようと応援してくれる。
- **ここまで来ると、改善にかなり近づいている！**

ご静聴ありがとうございました

- 本田 寛輔
- University of Maine at Augusta
- Office of Institutional Research and Planning
- hirosukehonda@gmail.com

付録1：期待値の違い



- 自分の期待が**<u>現実的か</u>**確認してみよう！
- http://www.fanpop.com/clubs/personality-test/picks/results/130607/cup-half-full-half-empty

付録2：アメリカに対する幻想

隣の芝生？

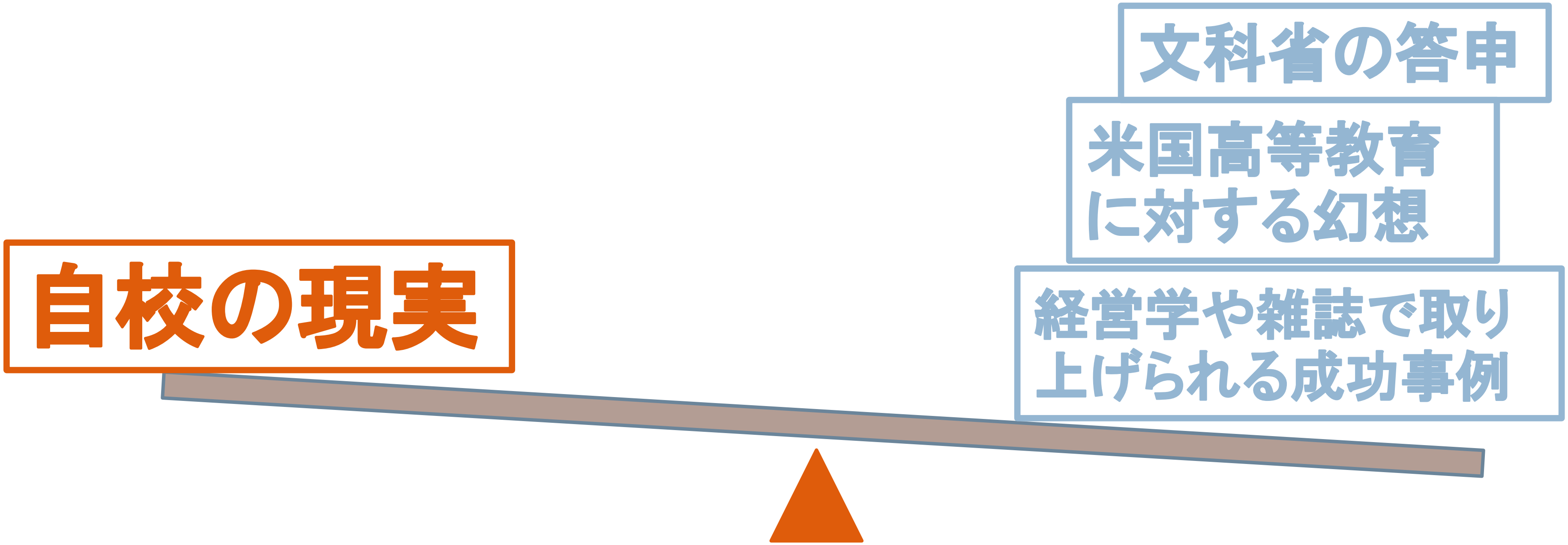
外圧？

制度や文化の違い？

お手本？

- 勤務校に居るアメリカ人の教員や留学生から
<u>実際</u>を聞いてみよう！

付録3：バランス感覚が大切



- どちらかに**偏り過ぎ**てはダメ